



女性が活躍できる環境の整備を進め、女性教職員の増加と管理職への女性登用の促進を目指し、次のような行動計画を策定しました。

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく 国立大学法人東京学芸大学一般事業主行動計画

1. 計画期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年)
2. 本学の課題
 - (1) 意思決定に関わる管理職に占める女性職員の比率が、なお低い。
 - (2) 附属学校教員の女性比率が、全国的な平均に対比して、なお低い。
3. 目標と取組内容・実施時期

目標1: 主要な管理職である副学長・学系長のうち、1名以上を女性とする。

<取組内容>

 - 将来、副学長・学系長の候補者等となりうる学長補佐に女性を登用
 - イベント等において経営層からメッセージを発信

目標2: 附属学校教員の女性の比率を、42%に引き上げる。

<取組内容>

 - 女性教員を積極的に採用
 - 仕事と生活の両立を支援する取組みを継続、推進
 - 女性の活躍推進を図るため、教職員への意識啓発を実施

仕事と生活のバランスを重視した働きやすい職場環境を整備するため、次のような行動計画を策定しました。

次世代育成対策推進法に基づく 国立大学法人東京学芸大学一般事業主行動計画

1. 計画期間 令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)
2. 目標と取組内容・実施時期
 - (1) 子育てを行う労働者等の職業生活と家庭生活との両立を支援するための雇用環境の整備

目標1: 出産・育児・介護と仕事との両立支援のための取組みを継続・推進する。

<対策>

 - 令和3年度～ 就業規則で定める各種両立支援制度のほか、ベビーシッター利用時の費用補助や定期的に人事異動を行う職種を対象とした勤務地等の希望聴取の取組みを継続
 - 令和3年度～ 両立支援制度をホームページや通知文書により学内に周知し、特に男性の育児休業の取得を促進
 - 令和4年度～ 女性職員のキャリア形成支援のための研修を実施
 - (2) 働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備

目標2: 職員の健康を確保し、働きやすい環境を整備する。

<対策>

 - 令和3年度～ ①ノー残業デー、②年次有給休暇の取得促進、③特別休暇(有給)による夏季一斉休暇制度の取組みを引き続き実施
 - 令和4年度～ 職員の年次有給休暇の取得状況や所定外労働の状況を効率的に把握・管理できるよう就業管理システムを導入
 - (3) その他の次世代育成支援対策に関する事項

目標3: 子育てに関する社会貢献活動を推進する。

<対策>

 - 令和3年度～ キャンパス内に授乳室を整備
 - 令和4年度～ 職員の子どもが親の職場を見学できる「子ども見学デー」をコロナ対策を講じた形で実施(再開)

授乳室を移転しました

ご利用される方は事前に人事課職員係(TEL.042-329-7894)までご連絡ください。学外の方もご利用いただけます。



W4 西4号館(西講義棟) 1階
現職教育支援課となり



子ども家庭の「困り」を考える——ソーシャルワークの視点から——

21世紀になって格差社会が進行し、日本社会でも多くの問題が顕在化しています。そこには、行政的な取り組みの不十分さや個々の家族関係に内包された諸問題、また市場経済の競争原理などが作用して、制度・家族・市場のすき間からもれ落ち、抜け出せなくなった数多くの存在があります。これらの諸問題は相互に連鎖し、負の循環を生みながら、個々の内面では自己肯定感を喪失させたり、社会的には多くの存在が不可視化され、公共的な関心やセーフティネットの対象外となっているのが実状です。こうした複合的な排除の問題に対して、私たちはいかに向きあつたらよいでしょうか。

男女共同参画推進本部では、すでに2015年11月に「若者の貧困問題とジェンダー ——複合的な排除の現状——」と題して、これらの問題に取り組んできました。コロナ禍を経験している現在、その状況はどのように変化したといえるでしょうか。今回は、本学社会科学講座に所属し、子ども家庭福祉や学校におけるソーシャルワークを専門に研究・実践して来られた梅山佐和さんに「子ども家庭の『困り』を考える——ソーシャルワークの視点から——」と題してご講演いただきます。コメントは、2015年に報告された本学・社会科学講座の山口恵子さんに、ご専門の社会学の視点からお願いいたしました。また、附属国際中等教育学校で養護教諭をされている佐藤晴香さんには、学校現場の状況についてご紹介いただければと思います。

今日、児童・生徒の置かれた状況は複合的であり、それに向き合う教員に求められるものも多様化しています。今回のフォーラムは、コロナ禍に特化した話ではなく、むしろすでに存在するさまざまな問題が、コロナ禍で見えなくなったり、歪められたり、逆に見えるようになっていたりしている状況を、みなさんとできるだけ共有したいと思います。フロアからの活発な参加を期待します。

(男女共同参画推進本部 及川 英二郎)

2021年11月20日(土) 14:00~16:30

講師 梅山 佐和 (社会科学講座 講師)
 コメンテーター 山口 恵子 (社会科学講座 教授)
 佐藤 晴香 (附属国際中等教育学校 養護教諭)

講演後、本学学生と座談会を行います。

オンライン開催 (Microsoft Teams ウェビナー)
 ☆学内限定☆ FD研修 (申請中)

参加費無料
 事前申込制

右のQRコードまたは下記URLよりお申込みください。

申込締切: 2021年11月19日(金) 13:00

<URL> <https://forms.office.com/r/F9euDTgNv1>

<お問合せ先> 人事課職員係 TEL: 042-329-7894

E-mail: shien1@u-gakugei.ac.jp



東京学芸大学 男女共同参画推進本部

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1

TEL: 042-329-7894 (事務局: 本部棟4階人事課職員係)

E-mail: shien1@u-gakugei.ac.jp URL: <http://www.u-gakugei.ac.jp/~danjo/>